

第63回教育課程小委員会議事録

1 日時・場所

2015年11月28日(土) 14:00-17:45 連合会議室

2 参加者

根本、瀧上、宮嶋、南島、藤原、小林、田口、

3 前回議事録案の承認

原案の通りに承認された。

4 中教審関連・理数系学会・他研究団体等の情勢報告

○中教審関連

- ・11/10に中教審理科ワーキンググループ第1回の会合が行われ、川村委員がWG委員に招集されたことが報告された。さらに同会合の配布資料について内容を確認した。
- ・11/8理数系学会シンポジウム「理数系教育におけるアクティブ・ラーニング」が開催され、様々な実践について発表があったことが報告された。
- ・11/26理事会にて、教育検討委員会に関係する内容として、教員免許状更新講習の開催に向けて、およびAGIへの教育に関する対応に関して議論がなされ、また、初等中等理科教育に関する日本学術会議での取り組みに関する報告もなされたことが報告された。
- ・11/23にJpGUと地学オリンピックが募集者となり、ちきゅう特別見学会が行われ、11団体48人(教員15、生徒33)の参加があったことが報告された。
- ・第8回日本地学オリンピック大会の参加者募集が11/15に締切られ、約2150人の申込みがあったことが報告された。

5 協議

(1) 次年度パブリックセッションについて

○現在の進捗状況を確認した

- ・開催日、コマ数 5/22(日)、午後2コマ連続
- ・外部講演者 資質能力・石井英真氏(京都大)、産業界・成田賢氏(全国地質調査業協会連合会)
*講演要旨の作成については、期日形式等、宮嶋委員が外部講師に連絡する

○内部講演者の人選について検討を行った

- ・地学基礎・地理基礎の内容提案 担当 田口委員
- ・アクティブ・ラーニングをどう捉えたか 担当 宮嶋委員或いは埼玉県地学研究委員会から
*地理系については、人選を依頼する

(2) 論点整理から求められる新「地学基礎」の内容検討について

○田口委員から私案及び参考資料の提案があり、それを基に議論を行い下記の意見が出された

- ・内容については、他のことを考えるために知らねばならないことを精選する。
- ・HR図のような論理をきちんと学べる内容を精選する。
- ・発展を抜いた内容だけから入試問題を作ることが困難となっている実情がある。
- ・指導要領の範囲の基礎的な内容についても、各教科書会社ごとにばらつきがある。
- ・防災の内容については、現行「地理A」と重複が多くあり、「地理総合(仮称)」との内容のすりあわせが必要である。
- ・單元ごとに重要な項目を寄せ集めて内容を構成する現行の方式をやめ、ストーリー性のある流れの中で必要なものを取り入れるようにしてはどうか。

(3) 今後のスケジュールについて

○教科書に掲載された用語不統一の実態調査

- ・日本学術会議(分野別委員会)地球惑星科学委員会 地球惑星科学人材育成分科会との連携を図り、同分科会との合同会議について連絡待ちであることが報告された。

○新「地学基礎」の内容検討

- ・次回小委員会で各自が私案を持ち寄って検討を重ねることが確認された。

6 次回小委員会

1月中に次回小委員会を開催するべく、開催日をメールで調整することとした。